

人口 15万人達成
(2016年)

人口 132,054人
(2000年)

人口 120,126人
(1990年)

人口 105,643人
(1980年)

人口 87,671人
(1970年)

人口 59,245人
(1960年)

人口 30,868人
(1950年)

市制施行51年(2001年)～
市制施行69年(2019年)

市制施行41年(1991年)～
市制施行50年(2000年)

市制施行31年(1981年)～
市制施行40年(1990年)

市制施行21年(1971年)～
市制施行30年(1980年)

市制施行11年(1961年)～
市制施行20年(1970年)

市制施行(1950年)～
市制施行10年(1960年)



2007(平成19年)
ウイングアリーナ刈谷オープン



1994(平成6年)
天皇后両陛下愛知県国体ご臨席



1981(昭和56年)
ミササガ市と姉妹都市提携



1975(昭和50年)
NHK「お国自慢にしひがし」
公開放送



市制スタート!

1950(昭和25年)
市内祝賀パレード



2010(平成22年)
総合文化センターオープン



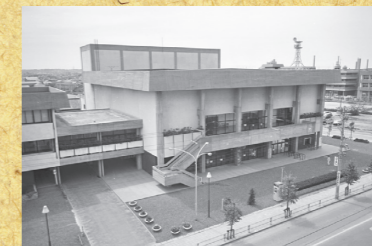
1996(平成8年)
依佐美の鉄塔解体工事が始まる



1983(昭和58年)
国道23号知立バイパス開通



1980(昭和55年)
商店街七夕まつり
市中パレード



1965(昭和40年)
市民会館開館



1955(昭和30年)
富士松村・依佐美村
合併記念式典



2015(平成27年)
夢と学びの科学体験館開館



1987(昭和62年)
ウォーターパレスKCオープン



1970(昭和45年)
市制施行20周年記念
小・中学校音楽パレード



1959(昭和34年)
伊勢湾台風襲来



2019(平成31年)
歴史博物館開館



2000(平成12年)
BSジュニアのど自慢開催



1980(昭和55年)
名鉄三河線高架が完成

1950年に人口約3万人で始まった刈谷市。その後、インフラが整備されていくと共に人口も増え、大企業が集積する歴史と調和のとれた産業文化都市へと発展しました。市制施行から70年経った今、刈谷市が歩んだ70年を写真とともに振り返ります。

刈谷の歴史を振り返る
あなたと歩んだ
70年

そして、市制施行70年へ